

Electone® *STAGEA*®

ELS-01/ELS-01C/ELS-01X(typeU)/ ELS-01CH バージョン1.85、バージョン1.90 追加機能説明書

バージョンアップデートは2段階に分けてリリースします。

- バージョン1.85 アドホックモード非対応
- バージョン1.90 アドホックモード対応

アドホックモードはバージョン1.90から使えるようになります。アドホックモードについては6ページ、9ページをご覧ください。

エレクトーン・インターネットダイレクトコネクションサービスの終了にともない、「インターネットダイレクト接続機能」はお使いいただけなくなりました。

また、iPhone/iPadなどのスマートデバイスとの接続機能が追加されました。それにともない、無線LANの設定方法が変更されました。無線LANの設定方法については、本書をご覧ください。

本書はELS-01Cの画面を使用して説明しています。

追加/削除された機能

●インターネットダイレクト接続機能の削除

エレクトーン・インターネットダイレクトコネクションサービスの終了にともない、インターネットダイレクト接続機能が使用できなくなりました。

●iPhone/iPadなどのスマートデバイスとの接続機能の追加

iPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続できるようになりました。楽器に対応のアプリケーションを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。

外部機器との接続

iPhone/iPadと接続する

この楽器はiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続できます。楽器に対応のアプリケーションを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。

接続の方法については、ウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

対応のスマートデバイスやアプリケーションについて詳しくは、ウェブサイト上の下記ページでご確認ください。

<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>

USB無線LANアダプター (別売品)を使った接続

USB無線LANアダプターを使うと、この楽器をスマートデバイスに無線接続できます。USB無線LANアダプターは、インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページに掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。

<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

基本的な接続方法はウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」で説明されていますが、操作の途中で必要になる楽器側の設定については、本書の「無線LAN接続する」もあわせてお読みください。

NOTE

USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

無線LAN接続する

iPhone/iPad接続マニュアルの説明手順に沿って操作を始めると、途中で「WPSによる接続」、「ネットワーク一覧から選んで接続する」、「手動接続」、「アドホックモードによる接続」のいずれかの設定が楽器側で必要になります。本書の3ページ～6ページをご覧ください、必要な操作を行なってください。

使用できるアクセスポイントがない場合は、「アドホックモードによる接続」(6ページ参照)を行なってください。

アドホックモードはバージョンアッププログラムのバージョン1.90から使えるようになります。

📎 関連ページ

- 無線LANの詳細設定(7ページ)
- 無線LAN設定を初期化する(9ページ)

注記

- iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPhone/iPadの機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- iPhone/iPadを不安定な場所に置かないでください。iPhone/iPadが落下して破損するおそれがあります。

NOTE

この楽器の[USB TO DEVICE]端子には、USB無線LANアダプターを接続できます。[USB TO DEVICE]端子を使う前に、取扱説明書に記載されている「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」をお読みください。

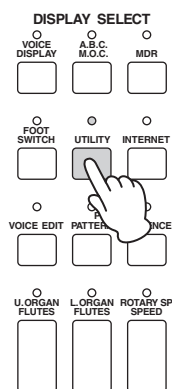
WPSによる接続

アクセスポイントがWPS機能に対応している場合は、設定情報の画面入力などを行なうことなく簡単な操作で楽器をネットワークに接続できます。

NOTE

アクセスポイントがWPS機能に対応しているかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- 1 USB無線LANアダプターを接続します。
- 2 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。



無線LANのモード



- 3 無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。

アドホックモードになっている場合は、[モード変更]ボタンを押して、インフラストラクチャーモードに変更してください(6ページ)。

- 4 画面の[WPS]ボタンを押します。

WPS接続を開始するかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。画面の[キャンセル]ボタンを押すとキャンセルされます。

- 5 画面の[OK]ボタンを押すとWPSが開始されますので、2分以内にお使いのアクセスポイントのWPSボタンを押してください。

楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます



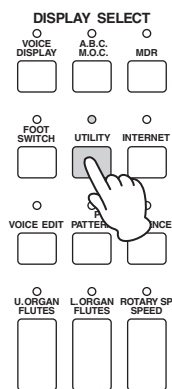
- 6 楽器とネットワークの接続が完了したら、「iPhone/iPad接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

ネットワーク一覧から選んで接続する

画面のネットワーク一覧から接続できるネットワークを選びます。

1 USB無線LANアダプターを接続します。

2 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。




無線LANのモード



3 無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。

アドホックモードになっている場合は、[モード変更]ボタンを押して、インフラストラクチャーモードに変更してください(6ページ)。

4 画面の[更新]ボタンを押して、楽器近くにあるネットワーク一覧を画面に表示させます。

セキュリティが設定されているネットワークには  (鍵アイコン)が表示されます。

5 画面の接続するネットワーク名が表示されているボタンを押して、お使いになるネットワークを選択します。

- 鍵アイコンが付いていないネットワークの場合：接続が開始されます。

- 鍵アイコンが付いているネットワークの場合：パスワード入力画面が表示されますので、アクセスポイント側で設定しているパスワードと同じに設定してください。文字の入力方法は、取扱説明書に記載されている「ソングに名前をつける」とまったく同じです。入力が終わったら画面の[OK]ボタンを押して確定します。すると接続が自動的に開始されます。

楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます



6 楽器とネットワークの接続が完了したら、「iPhone/iPad接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

手動接続

アクセスポイントがSSIDを非公開にしているためネットワーク一覧に表示されない場合は、SSID、セキュリティ方式、パスワードを入力して接続します。

NOTE

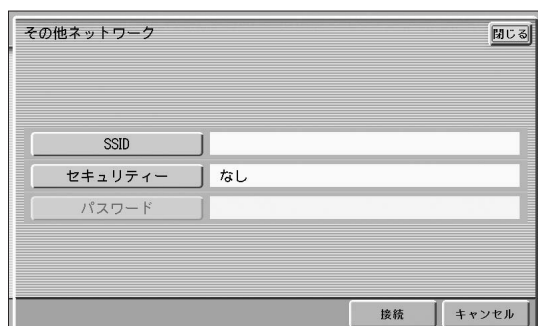
アクセスポイントの設定内容の確認や変更については、使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。

4ページの「ネットワーク一覧から選んで接続する」の手順1～3と同じ操作を行なってください。

2 画面のネットワーク名が[その他]のボタンを押します。

「その他ネットワーク」画面が表示されます。



3 SSID、セキュリティ、パスワードを順に設定します。

アクセスポイント側で設定している内容と同じに設定してください。

• SSID

画面の[SSID]ボタンを押すと、SSIDの入力画面が表示されますので、アクセスポイントとしてのSSIDを入力します。文字の入力方法は、取扱説明書に記載されている「ソングに名前を付ける」とまったく同じです。半角の英数字と記号で最大32文字です。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押します。

• セキュリティ

画面の[セキュリティ]ボタンを押すと表示される、[なし]ボタン、[WEP]ボタン、[WPA2-PSK(AES)]ボタンのいずれかを押してセキュリティを選択します。

• パスワード

画面の[パスワード]ボタンを押すとパスワード入力画面が表示されますので、SSIDと同様の方法で入力します。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押します。

NOTE

セキュリティで「なし」を選ぶと、パスワードの設定はできません。

4 画面の[接続]ボタンを押すと、接続を開始します。

楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます



5 楽器とネットワークの接続が完了したら、「iPhone/iPad接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

アドホックモードによる接続

- 1 無線LANのモードをアドホックモードに切り替えます。
「無線LANのモードの切り替え」をご覧ください。
- 2 SSIDなどを変更する必要がなければ、これで楽器側の設定は完了しました。「iPhone/iPad接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadと楽器を接続してください。

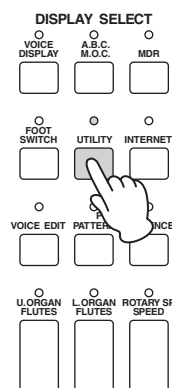
SSIDやセキュリティーを変更したい場合は、詳細設定画面で行ないます。

関連ページ

- 無線LANの詳細設定(7ページ)

無線LANのモードの切り替え

- 1 USB無線LANアダプターを接続します。
- 2 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。



無線LANのモード



- 3 無線LANのモードを変更します。
アドホックモードまたはインフラストラクチャーモードに変更できます。
画面の[モード変更]ボタンを押すと、モードを変更するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、変更する場合は画面の[OK]ボタンを押します。

無線LANの詳細設定

インフラストラクチャーモードと、アドホックモードそれぞれに詳細設定があります。
すでに楽器とiPhone/iPadが接続済みの場合、詳細設定は特に必要ありません。

📎 関連ページ

- 無線LANのモードの切り替え(6ページ)

1 無線LANのモードを選んだあと、無線LAN画面ページの[詳細]ボタンを押して、詳細画面を表示させます。

インフラストラクチャーモード時

詳細 (IP アドレス) 画面

詳細 (その他) 画面

アドホックモード時

詳細 (無線) 画面

詳細 (IP アドレス) 画面

詳細 (その他) 画面

2 必要に応じて設定します。

無線LANのモード	画面	項目名	初期値	設定/入力方法	
インフラストラクチャーモード時	詳細(IPアドレス)画面	DHCP	ON	DHCPを使用するか「ON」、使用しないか「OFF」を設定します。使用しているアクセスポイントがDHCPに対応している場合は、「ON」を選びます。画面の[ON]/[OFF]ボタンでON/OFFを切り替えます。	
		IPアドレス	0.0.0.0	DHCPを「OFF」に設定したときは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2の設定が必要です。設定内容については、使用しているアクセスポイントの取扱説明書などをご確認ください。 入力方法は、取扱説明書に記載されている「ソングに名前をつける」のソング名の付け方と同じです。設定範囲は0.0.0.0～255.255.255.255です。	
		サブネットマスク	0.0.0.0		
		ゲートウェイ	0.0.0.0		
		DNSサーバー1	0.0.0.0		
		DNSサーバー2	0.0.0.0		
アドホックモード時	詳細(無線)画面	SSID	ap-[モデル名 例 ELS-01C]-[MACアドレス下6桁](MACアドレスが取得できない場合はap-[モデル名])	MACアドレスの確認方法はこの表の下にあります。 • SSID、セキュリティ、パスワードは「手動接続」(5ページ)時と同じ方法で設定します。MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。 • チャンネルは画面の[チャンネル]ボタンを押すと表示される1～13の数字の書いてあるボタンを押して選択します。 • DHCP、IPアドレスは、インフラストラクチャーモード時と同じ方法で設定します。 • サブネットマスクは画面の[サブネットマスク]ボタンを押すと表示される数値入力画面で入力します。	
		チャンネル	11		
		セキュリティ	— (なし)		
		パスワード	— (なし)		
	詳細(IPアドレス)画面	DHCP	ON		
		IPアドレス	192.168.0.1		
		サブネットマスク	255.255.255.0		
インフラストラクチャーモード時/ アドホックモード時	詳細(その他)画面	ホスト名	[モデル名 例 ELS-01C]-[MACアドレス下6桁](MACアドレスが取得できない場合は[モデル名])	画面の[ホスト名]ボタンを押しホスト名を設定します。最大57文字。半角英数字に加え「-」と「_」も設定可能です。入力方法は、取扱説明書に記載されている「ソングに名前をつける」のソング名の付け方と同じです。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押して確定します。MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。	
		MACアドレス	— (なし)		USB無線LANアダプターのMACアドレスを表示します。設定はできません。
		LANドライバーバージョン	— (なし)		LANドライバーのバージョンを表示します。設定はできません。
		ステータス	00000000		ネットワーク機能のエラーコードを表示します。00000000はエラーなしです。

3 設定の変更を保存します。

詳細設定が終わったら、画面の[保存]ボタンを押します。キャンセルしたい場合は画面の[キャンセル]ボタンを押します。保存が終了すると、自動的に元の画面に戻ります。

無線LAN設定を初期化する

無線LAN設定は、取扱説明書に記載されている「エレクトーンの初期化」では初期化されません。ここで説明する方法で初期化をする必要があります。初期化を実行すると、無線LAN設定画面で行なったすべての設定が消去されて工場出荷時の状態に戻ります。

- 1 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。



- 2 初期化します。

画面の[初期化]ボタンを押すと、無線LAN設定を初期化するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、初期化する場合は画面の[OK]ボタンを押します。

インターネット用語辞典

アクセスポイント	無線LANで電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。無線LANを有線LANにつなぐ役割も持つ。
アドホックモード	アクセスポイントなどの中継機器を経由せずに直接、端末機器同士で通信を行なうことができる通信方式。
インフラストラクチャーモード	各端末が無線LANのアクセスポイントなどの中継機器を経由することによってデータ通信を行なう通信方式。
ゲートウェイ	ネットワーク上で、通信規格の異なるデータを相互に変換してやりとりするためのシステム。
サイト	正式には「ウェブサイト」という。ひとまとまりに公開されているウェブページ群。たとえば、http://jp.yamaha.com/で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼ぶ。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターのこと。
サブネットマスク	大規模なネットワークを、いくつかの小さなネットワークに分割するための設定。
無線LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をするLANのこと。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互接続するための機器。たとえば家庭などで複数のコンピューターを同時にインターネットに接続して、それぞれに異なるはたらきをさせたい場合に必要となる。一般的にはモデムとコンピューターの間に接続するが、モデム自体にルーター機能が内蔵されているものもある。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターにIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格。
DNS	ネットワークに接続されている各コンピューターの名前とIPアドレスを対応させるシステム。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューター 1台1台に割り振られた、ネットワーク上の所在を示す識別番号。
LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやり取りするネットワーク。Local Area Networkの略。
SSID	無線LANで特定のネットワークを指定するための識別名のこと。SSIDが一致した端末間でのみ通信できる。

